科目コード	1656	ナンバリング	FAB200	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	こども家庭福祉 2-福						
科目英語名	Child and Family Welfare 2-福						
担当教員	松本　充史						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための選択必修科目 社会福祉主事任用資格取得のための科目						
学修内容	１．こどもや家庭を取り巻く社会状況に対する福祉実践と、それを支える法制度、行財政の重要性を学修していく。 ２．実践が培われてきた歴史、制度・政策、法律等の知識と実践に即した課題、とくに、児童虐待、こどもの権利、こどもの貧困に注目しながら、授業で扱っていく。 ３．児童家庭福祉で重視される理念「こどもの最善の利益」、「個人と環境の相互作用」などを念頭に置き、少年非行、母子保健、子育て支援などのテーマを学んでいく。						
学修成果到達目標	１．現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史的変遷について説明できる。 ２．こどもの人権擁護について説明できる。 ３．こども家庭福祉の制度や実施体系等について説明できる。 ４．こども家庭福祉の現状と課題について説明できる。 ５．こども家庭福祉の動向と展望について説明できる。						

	授業計画	事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間
1	超少子高齢社会における子ども家庭福祉	教科書該当箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2 時間)	参考資料等を読み、子ども家庭福祉の基本的視点について考えを深める(2 時間)
2	子ども家庭福祉の理念	教科書該当箇所について読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、子ども家庭福祉の理念について考えを深める(2 時間)
3	子ども家庭福祉の専門職 （ICT を活用した動画コンテンツによる事例紹介）	教科書該当箇所について読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、子ども家庭福祉の専門職について考えを深める(2 時間)
4	子ども家庭福祉の展開	教科書該当箇所について読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、子ども家庭福祉の変遷について考えを深める(2 時間)
5	子どもの権利擁護 （ICT を活用した動画コンテンツによる事例紹介）	教科書該当箇所について読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、子どもの権利擁護について考えを深める（2 時間）
6	子ども家庭福祉の法体系	教科書該当箇所について読んでおく（2 時間）	参考資料等を読み、子ども家庭福祉の法体系について考えを深める(2 時間)
7	子ども家庭福祉の制度・事業	教科書該当箇所について読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、子ども家庭福祉の制度・事業について考えを深める(2 時間)
8	子ども家庭福祉の実施行政機関	教科書該当箇所について読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、子ども家庭福祉の実施行政機関について考えを深める(2 時間)
9	子ども家庭福祉に関連する施設（ICT を活用した動画コンテンツによる事例紹介）	教科書該当箇所について読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、子ども家庭福祉に関連する施設について考えを深める（2 時間）
10	要保護・要支援児童への支援	教科書該当箇所について読んでおく（2 時間）	参考資料等を読み、要保護・要支援児童への支援について考えを深める(2 時間)
11	社会的養護 （ICT を活用した動画コンテンツによる事例紹介）	教科書該当箇所について読んでおく（2 時間）	参考資料等を読み、社会的養護について考えを深める（2 時間）
12	少年非行等への対応	教科書該当箇所について読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、少年非行等への対応について考えを

			深める(2 時間)
13	次世代育成支援対策の推進	教科書該当箇所について読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、次世代育成支援対策について考えを深める(2 時間)
14	子ども家庭福祉の対象、方向性、枠組み、ソーシャルワーク	教科書該当箇所について読んでおく(2 時間)	参考資料等を読み、子ども家庭福祉におけるソーシャルワークについての考えを深める(2 時間)
15	子ども家庭福祉の新たな動向	これまでの配布プリントや教科書を読んでおく(2 時間)	試験勉強(2.5 時間)

試　験	レポート試験				
教科書	書　名	著　者	出版社	ISBN	備　考
	子ども家庭福祉入門	芝野松次郎・新川泰弘・宮野安治・山川宏和[編著]	ミネルヴァ書房	9784623088546	
参考書	書　名	著　者	出版社	ISBN	備　考
	幼保連携型認定こども園　教育・保育要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	フレーベル館	9784577814246	
	保育所保育指針	厚生労働省	フレーベル館	9784577814239	
	幼稚園教育要領	文部科学省	フレーベル館	9784577814222	

成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など
	授業態度	10%	受講態度、積極性
	授業毎の課題	50%	授業内容を理解しているか評価する
	レポート試験	40%	正確な説明ができているか評価する

備　考	保育士資格の必修科目、介護福祉士資格の選択科目にもあたります。 実践現場や社会でいかせる福祉的な知識、スキル、態度等を磨くトレーニングを授業内でします。 受講生の希望によって、発表、福祉現場を感じる内容なども考えています。
フィードバック	授業内の課題について適宜コメントする
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）	
授業内容	社会福祉士として児童福祉施設で実務経験のある教員が授業を担当し、保育士として求められる子ども家庭福祉のとらえ方や考え方についての講義を行う。